

女性医師支援センター事業について

Ⅰ. はじめに

平成 18 年度に厚生労働省委託事業として開始した「医師再就業支援事業」は、平成 21 年度に「女性医師支援センター事業」と改称し、本年度が事業開始から 19 年度目に当たる。これまで、様々な試みを行い、成果を上げてきた。

本年度は、バンクシステム、ホームページの改修などをはじめ、引き続き広報活動に注力し、就業成立件数の増加を図った。再就業講習会事業では、各種講習会や託児サービス併設補助などにより、女性医師等の就業支援の普及啓発活動を継続し、事業の更なる充実を図った。

Ⅱ. 女性医師バンク

女性医師等の就業継続・再就業支援のため、平成 19 年 1 月 30 日に創設された無料の職業紹介事業所である。主な事業内容は、医師の就業斡旋、ならびに医師からの相談対応・支援である。コーディネーターが求職者一人一人のライフスタイルに合わせた就業先や再研修先の紹介をきめ細やかに行っている。

本年度の運用状況は、

- 【新規登録件数】・・・ 734 件（求職者）、934 件（求人施設）
 - 【就業支援件数】・・・ 1,681 件
 - 【就業成立件数】・・・ 225 件（常勤 17 件、非常勤 181 件、スポット 27 件）
 - 【有効登録総数】・・・ 4,699 件（求職者）、7,608 件（求人施設）
- （※令和 7 年 3 月末時点）

Ⅲ. 女性医師支援センター事業運営委員会

本事業に関わる様々な課題を検討する運営機関として設置（角田委員長、他 4 名）。本年度は令和 6 年 4 月 23 日、10 月 29 日、令和 7 年 1 月 28 日に開催し、事業計画の策定、四半期毎の事業報告、検証、広報活動の立案や再就業講習会事業の検討、また、女性医師バンクの機能拡充についてなど、運営に関し、多岐にわたる事項について審議を行った。

Ⅳ. 全国医師マッチング支援委員会(プロジェクト)

医師偏在対策の一環として、医師偏在対策・全国的なマッチング機能支援についての日本医師会の考えに基づき、新たに本委員会を設置（角田委員長、他 11 名）。本年度は令和 7 年 3 月 5 日に開催。

なお本委員会は、女性医師支援センター事業内の委員会として位置付けられている。

委員は以下のとおり

| | |
|------|----------------------------|
| 委員長 | 角田 徹（日本医師会副会長 女性医師支援センター長） |
| 副委員長 | 松岡かおり（日本医師会常任理事） |
| 委員 | 藤原慶正（日本医師会常任理事） |
| | 長谷部千登美（北海道医師会） |
| | 大坪由里子（東京都医師会） |
| | 上田昌博（新潟県医師会） |
| | 吉信英子（山梨県医師会） |
| | 近藤由香（岐阜県医師会） |
| | 春原晶代（愛知県医師会） |
| | 後藤倫子（兵庫県医師会） |
| | 神崎寛子（岡山県医師会） |
| | 涌波淳子（沖縄県医師会） |

V. 女性医師支援・ドクターバンク連携ブロック会議

地域内での情報交換の機会として、平成 21 年度より、全国を北海道・東北、関東甲信越・東京、中部、近畿、中国・四国、九州の 6 ブロックに分け、「女性医師支援センター事業ブロック別会議」を開催してきた。令和 3 年度に現在の名称に変更し、本年度はドクターバンク事業における各都道府県医師会とのさらなる連携強化を目的とし、以下のとおり開催した。

- 北海道・東北ブロック（令和 6 年 10 月 12 日 秋田県医師会担当 出席者：34 名）
- 関東甲信越・東京ブロック（令和 6 年 10 月 19 日 山梨県医師会担当 出席者：46 名）
- 中部ブロック（令和 6 年 11 月 17 日 石川県医師会担当 出席者：47 名）
- 近畿ブロック（令和 6 年 10 月 20 日 奈良県医師会担当 出席者：40 名）
- 中国・四国ブロック（令和 6 年 11 月 4 日 岡山県医師会担当 出席者：68 名）
- 九州ブロック（令和 6 年 9 月 28 日 宮崎県医師会担当 出席者：52 名）

VI. 医学生、研修医等をサポートするための会

医学生、研修医等の支援活動として、平成 18・19 年度より本会男女共同参画委員会が都道府県医師会と共催で実施してきた本講習会を、平成 20 年度より女性医師支援センター事業の一環として行っている。

女性医師等が生涯にわたり能力を発揮するためには、職場や家庭における理解と協力が不可欠である。性別を問わず、医学生や研修医の時期から男女共同参画やワークライフバランスについて明確に理解しておくことが重要であるとの観点から、都道府県医師会ならびに日本医学会分科会や医会等の医療関係団体との共催により実施している。申請延べ数は 77 件（35 都道府県医師会 45 件、学会等 32 件）あり、開催は 76 件、延べ参加人数は 5,289 名であった。

*2 月 4 日開催予定であった福井県医師会は、豪雪の影響で開催中止となった。

[開催日順]

| | 開催日 | 団体名 | 開催場所等 |
|----|-----------|----------------|---------------------------------|
| 1 | 4月5日(金) | 高知県医師会 | 高知大学医学部 |
| 2 | 4月5日(金) | 高知県医師会 | ザ クラウンパレス新阪急高知 |
| 3 | 4月15日(月) | 福岡県医師会 | 九州大学臨床小講堂 |
| 4 | 5月11日(土) | 日本消化器病学会 | ハイブリッド形式(配信元: アスティとくしま) |
| 5 | 5月12日(日) | 日本脳神経外科学会 | WEB形式(配信元: ポートメッセなごや) |
| 6 | 5月18日(土) | 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 | 大阪国際会議場 |
| 7 | 5月19日(日) | 日本産科婦人科学会 | パシフィコ横浜ノース |
| 8 | 5月29日(水) | 日本血管外科学会 | 別府ビーコンプラザ |
| 9 | 5月30日(木) | 青森県医師会 | 八戸市立市民病院 |
| 10 | 6月13日(木) | 鳥取県医師会 | 米子コンベンションセンター |
| 11 | 6月14日(金) | 岡山県医師会 | 川崎医科大学 |
| 12 | 6月18日(火) | 沖縄県医師会 | おきなわクリニカルシミュレーションセンター |
| 13 | 7月3日(水) | 青森県医師会 | 弘前大学医学部 |
| 14 | 7月3日(水) | 福島県医師会 | ハイブリッド形式(配信元: 福島県立医科大学) |
| 15 | 7月11日(木) | 日本小児循環器学会 | 福岡国際会議場 |
| 16 | 7月14日(日) | 日本消化器内視鏡学会 | 広島県医師会館 |
| 17 | 7月20日(土) | 日本ペインクリニック学会 | 栃木県総合文化センター |
| 18 | 7月28日(日) | 日本臨床検査医学会 | WEB形式(配信元: 株式会社コンベンションプラス) |
| 19 | 7月30日(火) | 福岡県医師会 | 産業医科大学 |
| 20 | 8月3日(土) | 日本乳癌学会 | ハイブリッド形式(配信元: ふくしま医療機器開発支援センター) |
| 21 | 8月10日(土) | 日本産婦人科医会 | ハイブリッド形式(配信元: 日本産婦人科医会) |
| 22 | 8月24日(土) | 日本精神神経学会 | 江陽グランドホテル(仙台市) |
| 23 | 8月30日(金) | 日本呼吸器学会 | 大宮ソニックシティ |
| 24 | 9月6日(金) | 和歌山県医師会 | 和歌山県立医科大学 |
| 25 | 9月12日(木) | 富山県医師会 | 富山大学附属病院 |
| 26 | 9月13日(金) | 日本移植学会 | 長崎出島メッセ |
| 27 | 9月20日(金) | 香川県医師会 | ハイブリッド形式(配信元: 香川大学医学部) |
| 28 | 9月26日(木) | 群馬県医師会 | 群馬大学昭和キャンパス |
| 29 | 10月8日(火) | 高知県医師会 | 高知大学医学部 |
| 30 | 10月13日(日) | 埼玉県医師会 | 埼玉医科大学日高キャンパス |
| 31 | 10月19日(土) | 秋田県医師会 | ANA クラウンプラザホテル秋田 |
| 32 | 10月19日(土) | 日本アレルギー学会 | 国立京都国際会館 |
| 33 | 10月25日(金) | 長崎県医師会 | 長崎大学病院 |
| 34 | 10月25日(金) | 日本小児外科学会 | 一橋大学 |
| 35 | 10月25日(金) | 福岡県医師会 | 久留米大学 |
| 36 | 10月27日(日) | 滋賀県医師会 | 滋賀医科大学 |
| 37 | 11月1日(金) | 日本泌尿器科学会 | 佐賀市文化会館 SAGA アリーナ |
| 38 | 11月2日(土) | 日本肺癌学会 | パシフィコ横浜ノース |
| 39 | 11月2日(土) | 千葉県医師会 | ホテルポートプラザちば |
| 40 | 11月2日(土) | 日本婦人科腫瘍学会 | WEB形式(配信元: コレ四谷ターココンファレンス) |
| 41 | 11月3日(日) | 日本胸部外科学会 | ANA クラウンプラザホテル金沢 |
| 42 | 11月10日(日) | 日本手外科学会 | WEB形式(配信元: 新大阪セントラルタワー) |
| 43 | 11月12日(火) | 兵庫県医師会 | 神戸大学医学部医学科(シスメックスホール) |
| 44 | 11月12日(火) | 岩手県医師会 | アートホテル盛岡 |
| 45 | 11月13日(水) | 佐賀県医師会 | 佐賀大学医学部 |

| | | | |
|----|-----------|-------------------------------|--------------------------------|
| 46 | 11月15日(金) | 愛知県医師会 | WEB形式(配信元：愛知県医師会) |
| 47 | 11月16日(土) | 日本眼科医会 | 京都国際会館 |
| 48 | 11月16日(土) | 日本人工臓器学会 | ライトキューブ宇都宮 |
| 49 | 11月16日(土) | 日本熱帯医学会 | シャボン玉石饅くくる糸満 |
| 50 | 11月18日(月) | 北海道医師会 | 旭川医科大学 |
| 51 | 11月20日(水) | 長崎県医師会 | 長崎大学病院 |
| 52 | 11月20日(水) | 福岡県医師会 | 福岡大学 |
| 53 | 11月21日(木) | 日本放射線腫瘍学会 | パシフィコ横浜ノース |
| 54 | 11月21日(木) | 島根県医師会 | 島根大学医学部 |
| 55 | 11月22日(金) | 徳島県医師会 | 徳島大学日垂メディカルホール |
| 56 | 11月23日(土) | 日本臨床外科学会 | ライトキューブ宇都宮、他 |
| 57 | 11月23日(土) | 日本女医会 | WEB形式(配信元：日本女医会) |
| 58 | 11月23日(土) | 北海道医師会 | ハイブリッド形式(配信元：北海道医師会館、旭川医科大学) |
| 59 | 11月27日(水) | 三重県医師会 | 三重大学医学部附属病院 |
| 60 | 11月28日(木) | 宮崎県医師会 | 宮崎大学清武キャンパス内 |
| 61 | 11月28日(木) | 愛媛県医師会 | 愛媛大学医学部 地域医療支援センター |
| 62 | 12月5日(木) | 岐阜県医師会 | ハイブリッド形式(配信元：岐阜県医師会) |
| 63 | 12月7日(土) | 東京都医師会 | 東京科学大学 |
| 64 | 12月7日(土) | 日本糖尿病学会 | 岡山コンベンションセンター |
| 65 | 12月13日(金) | 日本小児血液・がん学会 | ハイブリッド形式(配信元：国立京都国際会館) |
| 66 | 12月19日(木) | 京都府医師会 | 京都大学医学部 |
| 67 | 1月11日(土) | 日本神経学会 | WEB形式(配信元：フロンティアインターナショナル株式会社) |
| 68 | 1月11日(土) | 日本消化器外科学会 | WEB形式 |
| 69 | 1月15日(月) | 福島県医師会 | 福島県立医科大学 |
| 70 | 1月23日(木) | 日本臨床泌尿器科医会 | 名古屋大学病院 |
| 71 | 1月30日(木) | 大阪府医師会 | ハイブリッド形式(配信元：大阪大学銀杏会館) |
| 72 | 1月30日(木) | 神奈川県医師会 | ハイブリッド形式(配信元：神奈川県総合医療会館) |
| 73 | 1月30日(火) | 広島県医師会 | ハイブリッド形式(配信元：広島大学医学部) |
| 74 | 2月1日(土) | 長野県医師会 | 信州大学医学部 |
| 75 | 2月4日(日) | 福井県医師会【開催中止】 | 福井大学医学部 |
| 76 | 2月4日(火) | 熊本県医師会 | 熊本市医師会館 |
| 77 | 3月14日(金) | 富山県医師会 【天候の影響により2/6より日程変更】 | ハイブリッド形式(配信元：富山大学杉谷キャンパス) |

VII. 女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会

女性医師等がキャリアを中断することなく、ライフステージに合わせた働き方を継続するためには魅力ある職場づくりが必要であり、それには病院長をはじめ、上司や同僚の理解が不可欠である。

そのため、病院長等に対して、特に女性医師等に関する就業上の問題点などを明らかにするとともに、柔軟な勤務形態の促進やライフイベントとキャリアの両立についての啓発を行うことを目的として開催している。

申請延べ数は10件(10道府県医師会)あり、開催は10件、延べ参加人数は539名であった。

[開催日順]

| | 開催日 | 団体名 | 開催場所等 |
|----|-----------|--------|-------------------------------|
| 1 | 9月14日(土) | 北海道医師会 | ハイブリッド形式(配信元:グランドメルキール札幌大通公園) |
| 2 | 11月30日(土) | 岡山県医師会 | 岡山県医師会館 |
| 3 | 12月5日(木) | 大阪府医師会 | ハイブリッド形式(配信元:大阪府医師会館) |
| 4 | 1月18日(土) | 千葉県医師会 | 千葉県医師会館 |
| 5 | 1月23日(木) | 広島県医師会 | ハイブリッド形式(配信元:広島県医師会館) |
| 6 | 1月30日(木) | 埼玉県医師会 | ハイブリッド形式(配信元:埼玉県県民健康センター) |
| 7 | 1月31日(金) | 熊本県医師会 | 熊本県医師会館 |
| 8 | 1月31日(金) | 宮崎県医師会 | ハイブリッド形式(配信元:宮崎県医師会館) |
| 9 | 2月10日(月) | 徳島県医師会 | ハイブリッド形式(配信元:徳島県医師会) |
| 10 | 3月1日(土) | 愛媛県医師会 | ANAクラウンプラザホテル松山 |

Ⅷ. 地域における女性医師等支援のための会

女性医師等のライフイベントとキャリアの両立には、女性医師等支援のための地道な活動が必要である。

そのため、女性医師等支援活動や就業支援(医師バンク)の普及推進に向けて、各地で講演や討論等を行っていただくことを目的として令和6年6月より開催している。

申請延べ数は20件、開催は20件、延べ参加人数は448名であった。

[開催日順]

| | 開催日 | 団体名 | 開催場所等 |
|----|-----------|---------|---------------------|
| 1 | 8月24日(土) | 和歌山県医師会 | 和歌山県民文化会館 |
| 2 | 9月5日(木) | 大分県医師会 | 中津ファビオラ看護学校会議室 |
| 3 | 9月9日(月) | 佐賀県医師会 | 佐賀メディカルセンター |
| 4 | 9月10日(火) | 富山県医師会 | 富山県医師会館 |
| 5 | 9月18日(水) | 岡山県医師会 | 川崎医科大学附属病院 |
| 6 | 11月1日(金) | 神奈川県医師会 | 川崎市医師会館 |
| 7 | 11月8日(金) | 福岡県医師会 | 産業医科大学 |
| 8 | 11月11日(月) | 秋田県医師会 | 秋田県医師会館 |
| 9 | 11月27日(水) | 福岡県医師会 | 北九州市立八幡病院会議室 |
| 10 | 12月12日(木) | 広島県医師会 | 広仁会館 |
| 11 | 12月28日(土) | 岐阜県医師会 | 岐阜大学医学部附属地域医療医学センター |
| 12 | 1月16日(木) | 秋田県医師会 | 市立横手病院 |
| 13 | 1月30日(木) | 愛媛県医師会 | 市立宇和島病院 |
| 14 | 1月31日(金) | 大阪府医師会 | 大阪医科薬科大学 |
| 15 | 2月1日(土) | 兵庫県医師会 | 兵庫県医師会館 |
| 16 | 2月5日(水) | 大分県医師会 | 大分大学医学部 |
| 17 | 2月7日(金) | 福岡県医師会 | 久留米大学病院 |
| 18 | 2月9日(日) | 徳島県医師会 | 徳島県医師会 |
| 19 | 2月14日(金) | 神奈川県医師会 | 関内ホール |
| 20 | 2月26日(水) | 鹿児島県医師会 | 鹿児島県市立病院 |

Ⅸ. 医師会主催の研修会等への託児サービス併設費用補助

育児中の医師の学習機会確保を目的として、平成 22 年度より研修会等への託児サービス併設に対して一定額の補助を行っており、令和 6 年 4 月～令和 7 年 2 月に開催された都道府県医師会、または郡市区医師会が主催する研修会等を対象とし、補助を行った。

申請は、都道府県医師会主催分が 8 道府県から 20 件、日本医師会主催分は 1 件あった。

X. アンケート調査

今後の女性医師支援策をより実効あるものとするため、病院に勤務する女性医師の勤務環境の現況を詳細かつ正確に把握し、就業継続および復職支援等の対策・検討の基礎資料を得ることを目的として、平成 21 年に実施した同様の調査をベースに、3 回目となる「女性医師の勤務環境の現況に関する調査」を実施した。実施期間は、令和 6 年 11 月～令和 7 年 1 月。全国の病院 8,055 施設に依頼し、その病院に勤務する女性医師に対し調査の案内を配布いただくことにより、10,768 人の先生方にご協力いただいた。調査の実施と集計業務は、調査会社に委託。分析は日本医師会総合政策研究機構が行い、報告書のとりまとめは、本会男女共同参画委員会と女性医師支援センターが共同で行う予定である。

XI. 広報・啓発活動

医師が社会人として働くうえでの基礎知識、出産・育児に関して直面する課題、それを支える制度など、必要な情報を取りまとめ、令和 3 年度より「医師の多様な働き方を支えるハンドブック」を制作しており、医学生、研修医など若手医師をはじめ、多くの医師に活用いただいている。冊子の配布数は約 20,000 部であった。なお、当センターのホームページからダウンロードも可能である。

また、学会総会等においてブースを出展し、出席者に直接「女性医師バンク」の広報活動を行った。